



とらいあんぐる



2016 年 5 月

一音会ミュージックスクール発行

「お母さんの生き方（１）」

先日、「母の日」がありました。

「お母さん」という人の生き方について考えると、時代の変化を強く感じます。

私が子どもだった頃の「お母さん」は、専業主婦であることがほとんどでした。働いているお母さんは、とても少なかったのです。

このことだけをとってみても、時代が大きく変わったことを感じます。

私自身が「お母さん」になって、娘を育てていた時、働くお母さんは、そう珍しくなくなっていました。男性と同じように、女性も社会で活躍できる

世の中になりつつありました。

しかし当時、専業主婦のお母さんも、まだ多数派でした。

そしてまた時が流れ、私が子育てしていた時代から、１０年以上がたちました。

現在、お通いになっている小さな生徒さんのご家族を見ると、この１０年の間に、さらに時代が進んだことが分かります。いまや、働くお母さんは主流になろうとしています。

私が生きてきた４０数年の間に、「お母さん」の生き方が、大きく変わったわけです。その変化を、私自身の目で見てきて、やっぱりこれは良い変化だ！と感じます。

自由な時代になりました。もちろんまだ不十分な面はたくさんありますが、女性だからといって、生き方や職業を制限されることはなくなってきました。多くの女性が、自分の生き方を選ぶようになりました。

もしかしたら、若いお母さま方には、もうそれがあたりまえで、私がこれからしようとしている昔話をイメージしにくいかもしれません。

イメージするのに、ちょうどよいアニメがあります。

たとえば、今も子どもに人気の「ドラえもん」は、私が子ども時代にはじまったものでした。「ちびまる子ちゃん」は、作者の体験をベースにしているとききますが、作者の方は、私と同年代です。

「ドラえもん」でも「ちびまる子ちゃん」でも、主人公のお母さんは、専業主婦です。お友だちのお母さんも、皆、専業主婦として描かれています。

私が子どもだった時代は、そういう時代だったのです。

私が小学校1年生の時のことです。

かつて「とらいあんぐる」でも書かせていただいたことがありますが、

私は発達に問題があり、普通学級への入学を許されませんでした。しかし、サノ先生とおっしゃる定年間近のベテランの先生が、私と私の家族の窮状を理解し、自分が担任する学級に私が入れるよう、動いてくださったのです。

当時、私は、サノ先生のクラスで、あれこれつまづきながらも、楽しくすごしていました。

一方、母は、病状がとても重い時代でした。家を一步も出ることができませんでした。

健全なお子さんであっても、1年生というのは、いろいろなことがあるものです。

ましてや私は、トラブルの種が服を着て歩いているようなものでしたから、親が健康であつたら、毎日のように学校に出向かなくてはいけないような状態でした。

サノ先生は、いつしか、放課後に私の家を訪問してくださるようになっていました。私の母が、家を一步も出ることができなかったからです。

私の学校での様子を母に伝え、相談することが、サノ先生の目的でした。

母は、学校での様子を知りたがって

いましたので、サノ先生のご厚意に、たいへん感謝しました。

頻度は週に1回くらいだったと思います。週に1日だけ、私はサノ先生と手をつないで、家に帰るのです。

サノ先生と、いろんな話ができる、私にとっても至福の時でした。

ただでさえ忙しい、1年生の担任業務のあいま、サノ先生はかならずそれを実行してくださいました。

たびたび顔をあわせる母とサノ先生は、急速に親しくなっていました。

学校での私の様子を報告するだけだったはずが、サノ先生が私の家にとどまる時間が、だんだん長くなっていました。

別の部屋にいる私にも、サノ先生の楽しそうな話し声が届いていました。

母もまた、サノ先生がいらっしゃるのを、とても楽しみにするようになりました。

家から一歩も出ることができず、家族以外に話をする相手もいなかった母は、さびしかったんだろうと、私は思っていました。

私ばかりか、母の相手までしてくださっているサノ先生に、感謝しました。

しかし、私の理解は、少し間違っていたことを知ります。

いつものように、サノ先生と手をつないで家に帰る時、サノ先生は私にこんなふうにおっしゃいました。

「アヤコちゃんは、もうだいじょうぶよ。なんでもできる。ほかのお友だちとかかわらない。だから先生がこんなふうに、アヤコちゃんのおうちに行くことは、本当は必要ないの」

先生は、楽しそうに笑いました。

「先生ね、アヤコちゃんのお母さんに会いたい。難しい言葉だけど、“尊敬”って分かる？ 先生ね、アヤコちゃんのお母さんのことを、心から尊敬しているの。アヤコちゃんのお母さんに会って、お話をきくと、私もがんばろう！って、ものすごい力がわいてくるの。アヤコちゃんのお母さんって、すごい人だわ。先生、これまで生きてきて、あんな人に会ったことない」

先生がそんなふうにおっしゃったことを、私は母には告げていません。

しかし、ちょうど同じ時期に、母が似たようなことを私にいいます。

「アッちゃん、ママね、サノ先生のこと、すごく尊敬しているの。最近は、

あんまりアッチちゃんのお話はしていなくて、サノ先生がどんなふう生きてきて、どんなふう仕事をし、どんなふうにお嬢さんを育ててこられたか、そんなお話をきかせていただいているの。すごく勉強になるわ。サノ先生は、今よりもずっと、女の人生きにくい時代に、立派にお仕事をされて、立派にお嬢さんを育ててこられた方なの。ママは、心からサノ先生を尊敬しているの」

二人は、「同志」だったのかもしれない。

母は、重病人ではありましたが、当時、「こびとワークブック」（共同音楽出版社）を執筆していました。

ある時、母がサノ先生に、そのことをうちあけると、サノ先生はびっくりし、たいへん興味を示され、「こびとワークブック」について、たくさん質問されたそうです。母が、鉛筆書きの段階の原稿をサノ先生に見せると、サノ先生は非常に長い時間をかけて、それを興味深そうにのらんのなっていたそうです。

実際、サノ先生と母が親しさを増したのは、その頃からでした。

母はあとから、回想していました。

「あの時にね、私とサノ先生は、たがいに目を見つめ、たがいが同じ種類の人間だって、確信したの。私たちは、同じ“働くお母さん”なんだ、って」

母は、嬉しそうでした。

働くお母さんが非常に少なかった時代、女性が子どもを育てながら働き続けることは、本当にたいへんなことでした。

同じようにたたかう“同志”に出会い、二人がたがいを認め、尊敬し、急接近したのも、分かる気がします

この40年、働くお母さんは奮闘を続けました。なぜ、こんなにも急速に時代が変わったのかと考えると、そうしたお母さんたちの努力が、何より大きかったのだろと感じます。

今年の母の日は、たくさんのお母さんたちの努力に、感謝をした日でした。

（江口 彩子）



◆「第11回ジュニア・コンサート」を開きます

5月15日（日）におこなわれる「ジュニアコンサート・オーディション」の結果を受け、6月3日（金）に、「第11回ジュニア・コンサート」を開きます。

場所は、西武池袋線「大泉学園」駅北口より徒歩1分、「ゆめりあホール」です。
時間は、18：30開場、19：00開演です。



「ジュニアコンサート・オーディション」とは、小学4年生から高校3年生までの一音会の生徒さんならどなたでも参加できる、公開制オーディションです。客員教授のプリドノフ先生ご夫妻が審査をおこない、審査に合格した生徒さんが、「ジュニア・コンサート」に出演いたします。

審査の厳しいオーディションではありますが、プリドノフ先生ご夫妻から演奏についての丁寧な講評をいただくこともできます。

オーディションは来年も開催いたしますので、ご興味のある方は、まずは今年の「ジュニア・コンサート」に足をお運びください。来年のオーディションにつきましても、決まり次第、お知らせいたしますので、来年の目標の1つにしてみても、いかがでしょうか。

オーディション前に、本号を発行している関係で、オーディション結果について、お知らせすることができませんが、コンサートの詳細につきましては、おって教室内にポスターを掲示してお知らせいたします。

◆「おんがくかい」におこしく下さい

6月5日（日）に、「ひびきホール」で「おんがくかい」が開かれます。「おんがくかい」は、教室のスタッフ有志によるコンサートです。

声楽の加藤裕子先生が中心となり、小さなお子さまでも楽しめる、とても楽しい会を計画しています。音楽で紡がれるお話を楽しんだり、手遊び歌で演奏に参加したり、楽器を体験したりすることもできます。

楽器も、ピアノの他、ヴァイオリン、フルート、パーカッションと、もりだくさんのプログラムです。曲も、皆さまに親しみやすい曲ばかりです。

ご希望の方は、ショパンはうす受付にお申し込みください。チケットは、小学生 500 円、中学生以上の大人 1000 円（未就学児無料）です。時間は以下の通りです。

第1回 10：30開場 11：00開演

第2回 13：30開場 14：00開演

一音会の生徒さん以外の方も、もちろん入場できます。お一人でも多くの方に、足をお運びいただけますよう、願っています。

♪ 音楽物語「窓ぎわのトットちゃん」より

お話と音楽

ガーシュイン：アイ ガット リズム

フォーレ：シチリアーノ

オッフェンバック：天国と地獄

ヒーリー：ディズニー ファンティリュージョン他

♪ 手遊び歌を楽しもう

♪ ミュージックベルで演奏しよう

◆今年度のスケジュールについて

すでに2016年度のレッスンスケジュールが、お手元にわたっていると思います。まだお持ちでない方は、担当の先生もしくは、ショパンはうす受付に、お申し出ください。

今年の「ピアノ発表会」は、7月28日（木）、29日（金）、30日（土）、31日（日）の4日間です。場所は「かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール」です。例年より若干、日程がはやくなっていますので、ご注意ください。

「ピアノ発表会」については、6月1日より、くわしいご案内をお配りする予定です。

ピアノのレッスンを受ける生徒さん全員に、演奏していただきます。ピアノをまだおはじめでない生徒さんは、リトミックでご参加ください。

リトミックでご参加の生徒さんは、下記の「ひよこちゃんリハーサル」に、おこしください。リハーサルのレッスン料は発生しません。

普段のレッスンでも練習を重ねていただいておりますが、本番でびっくりしてしまわないように、より広い場所で、よりたくさんのお友だちと、練習しておく必要があります。ご家族の皆さまのご協力を、よろしくお願いいたします。

「ひよこちゃんの1日」のリハーサル

日 時	7月 3日（日）	11:00～12:00
	7月 18日（月・祝）	13:00～14:00

場 所 ひびきホール
豊島区長崎5-8-12
一音会ビル3階



◆節電にご協力ください

暑い日が多くなってきました。

防音の関係で気密性の高い教室は、お部屋が暑くなりがちです。特にグループレッスンのお部屋は、集まった人の体温と、お子さまの情熱で、エアコンをかけていても、暑くなります。

すでに教室では、ほとんどの場面でエアコンを使っていますが、お子さまには薄着になれる服装でいらっしゃるよう、お願いいたします。お子さまにあわせてお部屋を冷やすと、つきそううちの方には寒くなってしまうことも多く、お子さまに薄着になっていただくのが、ベストです。涼しいと思える日でも、上着を脱げば、上はTシャツ1枚くらいになれる服装が、ちょうど良いです。

◆フェイスブックをご活用ください

先号でお知らせしましたように、一音会のフェイスブックをはじめました。

年間スケジュールも、すでにアップしました。

適宜、お知らせ事項も、載せています。

たとえば、おでかけ先で、「第何週目だっけ？」など、気になった時には、モバイルでスケジュールをチェックしていただくこともできます。

皆さまに便利な情報をアップしていきますので、ぜひご活用ください。



一音会フェイスブックQRコード

スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp

電話：03-3954-9999

- * お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。
- * ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。